

学校法人桐朋学園アリオン江戸音楽振興基金

第4回〈柴田南雄音楽評論賞〉本賞

堀内 彩虹 (Ayako Horiuchi)



静岡県出身。2005年に洗足学園音楽大学音楽学部演奏学科声楽専攻を卒業したのち、音楽学へ転向し、2009年桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科音楽学専攻を卒業。東京大学大学院 総合文化研究科超域文化科学専攻（表象文化論コース）修士課程を経て、現在は東京大学大学院 総合文化研究科超域文化科学専攻（表象文化論コース）博士後期課程に在籍。歌声の聴取論を研究している。

専門：音楽美学、表象文化論、現象学的知覚論、ヴォイス・スタディーズ

著書・論文に、堀内彩虹「貴志康一が『作曲家』になるまで—学びの過程にみるその原像」梶野絵奈、長木誠司、ヘルマン・ゴチェフスキほか編『貴志康一と音楽の近代—ベルリン・フィルを指揮した日本人』青弓社、2011年（共著）、堀内彩虹「歌う声をくきく」行為—歌う身体と聴く身体が交叉するところ」『表象』第10号、表象文化論学会、2016年などがある。また一般向け書籍に、栗田佳代子監修『博士になったらどう生きる？78名が語るキャリアパス』勉誠出版、2017年（分担執筆）がある。